



1月7日

市消防出初式で訓示を述べる栗市長

ごあいさつ

平成30年1月9日

新しい年が幕開けました。今年は戌戌（つちのえいぬ）、戌の年になります。犬はあらゆる動物の中でも、人間とのつきあいが最も古く、狩猟のパートナーとして、番犬として、さらには家族の一員として親しまれています。

そんな犬は安産の象徴でもあります。一度にたくさんの子を産むことから来ているのだと思いますが、私たち行政がひとつひとつ遂行している政策が市民の皆さんそれぞれの幸せにつながっていくように、さらに新たな「産み」と、創造することを肝に銘じなければなりません。新しい出発や、誕生、それが戌の年となります。

昨年は、3月に全国椿サミットの開催、そして11月には待望の「学びの杜ののいち カレード」が竣工いたしました。開館して1ヶ月半で来館者が10万人に達し、いかに皆さんの関心が高い施設であるかということが評価されたようで、とてもうれしく思っています。今年は、野々市中央地区整備事業の新しい中央公民館を含む地域中心交流拠点施設の整備に取り掛かることとなります。現在は解体作業中で、現場は仮囲いの状態になっていますが、金沢工業大学の学生の皆さんのご協力で囲いに素敵な絵を描いていただきました。建設中から完成までの間も、皆さんに楽しんでいただけるような配慮を考えています。

旧役場と中央公民館のある本町二丁目地内には、明治30年（1897年）に野々市尋常高等小学校が建てられました。さらには明治期に県会議員、野々市村長を歴任し、金沢市に初めて電気会社を設立した藤村理平の偉業をたたえた銅像が昭和10年（1935年）に建てられましたが、昭和49年（1974年）に白山町に移築されています。この度の施設整備に伴い、この付近に今は石碑となっている藤村理平の頌徳碑を戻す予定をしており、あらためて本市の偉人の功績を讃えたいと考えています。

野々市の歴史が刻み込まれたともいえるこの地に、再び新たな息を吹き込み、市民の皆さんが活躍する舞台づくりをさらに進めていきたいと考えております。野々市の過去と未来が交錯する場所、竣工は来年の3月を予定しております。

今年の「花と緑ののいち椿まつり」は3月17日、18日に開催いたします。昨年は第27回全国椿サミットと同時開催させていただき、内外から好評をいただきました。その余韻も今年は残しながら、主会場となる文化会館や中央公園の椿館、椿山も含めた形で一段とパワーアップした椿まつりとなるようにしたいと思います。

また、椿まつりにあわせて、JR野々市駅の50周年記念事業も開催され、関連するものの展示などを中心に50年の節目を迎えたいと思っております。JR野々市駅は地元の皆さんが私財を投じ、熱意を持って誘致した「請願駅」です。残る資料は少ないかもしれませんが、この機会に多くの皆さんにご周知いただきたいと思います。

1月号の広報野々市の表紙にもありますように「ワンダフル!ののいち」をめざして今年もがんばります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。